

人工知能とサービス科学研究所

Research Center for Artificial Intelligence and Service Science

研究所の概要

人工知能技術の各種分野への応用手法が近年確立してきているが、さらなる多分野への適用や複合分野の融合手法やその実現手法については、さらなる研究が必要とされる。具体的に、近年注目を集めている、Cloud Computing、Crowd Computing、IoT、Big Data、インタフェースなどの各種技術は、人工知能技術を有機的に活用でき、極めて広い分野での適用が期待できる。また、これらの技術は、人間、組織、社会において関わりが深く、サービスの観点においても研究が必要である。とりわけ、サービスマネジメント、サービスマーケティング、サービスエコノミクスおよびビジネス的議論が必要不可欠であり、技術的観念および社会的観念の融合が必要であると予想される。そこで、横断的、学際的な観点を取り入れつつ、次世代の人工知能研究を牽引し、社会活動を効果的に支援することを目的とする。



所長

松尾 徳朗

Tokuro Matsuo

キーワード

マルチエージェントシステム、交渉と協調理論、社会実装、メカニズムデザイン

令和5年度の実施項目

- サービスと技術の融合によるビジネスイノベーションの実現手法の研究促進
- 学術的成果の社会還元を通じた科学技術啓蒙活動
- AI 技術に基づく新市場創造
- 国内外を含めたアウトリーチ活動

令和4年度の研究活動内容及び成果

1. JST CREST に関わる研究推進

ハイパーデモクラシーにおける議論の促進支援や合意形成支援を目的として社会実験を実施するとともに、成果を関連の国際会議や国際ジャーナルで論文として発表した。

2. 研究所主催国際シンポジウムの開催

2022年度は、1年間を通じて2回のシンポジウムへの協賛および13回のフォーラムを実施した。社会心理学、社会最適化、人工知能、エージェント工学、コンベンション学、マイクロ経済学などをテーマとして実施した。

3. AIIT-BINUS International Symposium on Industrial Technology の開催およびアウトリーチ活動

令和元年度に国際交流協定を締結した BINUS 大学との共催・協力で、産業技術をテーマとして IT リ

スクマネジメント、確立推論、リサーチメソドロジー、Society 5.0、ビジネスマネジメント、IoTなどをテーマとして、講演および聴講者を交えたフォーラムディスカッションを実施した。アウトリーチ活動として、(1) Universitas Widya Gama Mahakam Samarinda、(2) APTIKOM Kalsel、(3) Universitas Kristen Satya Wacana, Salatiga、(4) Universitas Kristen Duta Wacana, Yogyakarta、(5) Atmajaya University, Yogyakarta、(6) Ciputra University, Surabaya、(7) Universitas Logistik dan Bisnis Internasional, Bandung、(8) Bumigora University, Lombok、(9) Institut Teknologi Dan Bisnis STIKOM, Bali、(10) Bina Nusantara University, Semarang、(11) Bina Nusantara University, Malang、(12) Bina Nusantara University, Bandung、(13) Dong Nai Technology University, Dong Nai、(14) Nguyen Tat Thanh University, Ho Chi Minh、(15) FPT University, Hanoi、(16) Phenikaa University, Hanoi、(17) Bina Nusantara University, Jakarta において実施した。